

●とびつくす●

県内交流会 IN 那賀町

阿南・那賀地域会 中西 一浩

2024年12月7日土曜日那賀町において、青年部県内交流会を開催しました。

青年部長の石川君が製材所という事もあり、林業の現状を知ってもらいたい思いから、今回は那賀町での開催となりました。

素材生産地（山土場）の視察、約40分の移動は那賀町の澄んだ清流と美しい景色を堪能。

現地に到着、伐採場所は超急勾配で驚き。事故率が高い原因も納得しました。

到着後は山土場と伐採作業の見学、チェーンソーの伐採音と木の倒れるところは遠くでしたが確認できました。

伐採方法、搬出の仕方、冬季時の苦勞など林業従事者会の方から色々説明頂きました。

単価も教えて頂きましたが、危険を伴う上、多くの重機、手間がかかっているのに単価が安い・・・



視察後は那賀町林業ビジネスセンターにて那賀町林業振興課、那賀町林業従事者会（山武者）、製材業者と「那賀町の素材生産流通」についてワークショップ、意見を交わしました。

ご存じの通り林業は人材不足や高齢化、利益率の低さ、所有者不明の森林等が問題視されています。

建築士会側からは、設計した建築は木頭杉を使ってもらいたいとの意見もありましたが、現状難しいようで製品になってからでは判別が難しいとの事。

直接依頼いただければ対応可能だそうなので、気になる方は一度見学されては如何でしょうか？

施主に木頭杉の魅力を理解してもらふ事も必要という意見もあり、まずは那賀町の事を知ってもらうために那賀町役場の宿泊施設をふるさと納税で貸し出しするなど

の面白い意見もありました。

我々建築士会としては、県産杉を地産地消できるよう官民で連携し林業の活性化に取り組んでいけたら徳島の発展にもつながるのではと思います。



懇親会は吉岡くんの親父が営む古民家（実家）を改修した「山宿 花瀬庵」にて。

参加者は少なかったですが美味しいぼたん鍋をいただきながら、楽しく笑談。

2次会は築100年の蔵を改修したBARにて。

木頭はゆずも有名で、ゆずカクテルも美味でした。



青年部のサポートで参加しましたが、阿南・那賀の県内交流会も今回で4回目となりました。青年部の人数も減少し寂しいと感じた次第です。

次回の県内交流会からは2年に1度、3つの地域に分けて開催すると聞いています。

参加するまでがたいそいのですが、参加することによりつながりや学びになるので是非参加してみてください。

今回の交流会開催におきまして、携わった方、声掛けなど協力して下さった方ありがとうございました。

●地域会だより●

「まちの縁が輪」 運営活動の報告

徳島県建築士会シニア部会 徳島地域会 佐藤 幸好

■事業の背景

現在、私は「ひょうたん島まちなか再生機構」という徳島市の中心市街地を活動の拠点とする人々から構成される団体の代表をしている。この団体は2040年の徳島市の中心市街地がどうあるべきかという未来ビジョンを考え、その未来ビジョン実現に向けて活動している。具体的な活動目標としては、①通りやビルや店舗の1階部分(グランドレベル)には人々の営みが見られる。②住民自らが管理する街路樹や花ロードがまちを彩っている。③まちのあちこちに、様々な人が集いくつろげる人だまりができそうな場所がある。④小さな人だまりには屋台、ベンチ、縁台等が設けられている。この目標の実現に向けて各団体が活動を展開している。

■まちの縁が輪

私は昨年から建築士会シニア部会と協働して、徳島市幸町にあるビルの1階空き店舗を「まちの縁が輪」として、様々なヒトやコトやモノが行き交い混ざり合い、人間関係がより豊かになる「第三の場(サードプレイス)」づくりに取り組んでいる。まちの縁が輪での主な活動は、毎月1回開催する「くんだら塾」である。今年度は、県内の各分野(建築・経済・まちづくり等)で活躍の女子を中心に塾長をお願いした。今年度のスタートである7、8、9月は、女性建築士3名に塾長をして頂いた。

7月は、M-STYLE 設計室代表の島田めぐみさんに「木造建築とSDGs」とのテーマで、まずは徳島県の林業の歴史、戦後の国策としての杉造林、その後の森林の厳しい状況と共に、公共建築物での木材利用の促進の必要性をスライドで説明して頂いた。

8月の「くんだら塾」は、遊・空間デザイン室代表の林裕子さん。「100年前の建物を昔のままに再現」と題したテーマで、林氏の生家である登録有形文化財に指定されている多田家住宅の改修記録のお話をして頂いた。

9月の「くんだら塾」は、高源組の管理建築士で徳島県建築士会徳島支部長の高源真由美さんが、「徳島の家守り」をテーマにお話を頂いた。最初に幼少時代の思いや早稲田大学石山研での作品やまちづくりへの取組、徳島にUターンして家業の高源組を継ぐまでの振り返りと共に高源組での仕事の中で気づいた、竣工してから始まる「お付き合い=家守り」を大切に、施主の気持ちに寄り添いながら、できる限り長く住み続けることができるよう見守ることの大切さを語って頂いた。

■住まいの終活 in 牟岐

11月30日には、昨年度建築士会シニア部会とNPOアライブラボの協働で実施していた「住まいの終活セミナー」を出前セミナーとして牟岐町で実施した。高齢化とともに増える空き家問題を踏まえ、今からできる住まいの整理と備えについてのリフォームやリノベーションを提案し、健康で安心して暮らす住環境づくりについて説明した。



■今後の活動

空き店舗であった場所を地域交流拠点として地域の人々に向けて開放することで、初めは利用者も少数であったが、まちの縁が輪で実施した「くんだら塾」を通して徐々に認知度も増えいき、様々な人々や団体が利用するようになった。それに伴い、まちの縁が輪に情報も集まるようになり、その情報を必要な人に提供することで新たな交流や取り組みを生むきっかけになった。運営を通して、このようなサードプレイスが街や人々にとって必要とされていることが確信できた。

今後は、まちの縁が輪を継続して運営することを希望する利用者の声が多くあったことから、できれば苦勞も多いが、これからも建築士会の貢献活動としてシニア部会会員の協力も得ながら継続したいと考えている。



●あなたが出番●

徳島県建築士会青年委員会事業のご紹介

徳島地域会 板東 毅

今年度から徳島県青年委員長をさせてもらっている板東です。今回はあなたが出番ということで、何を書こうかなと思いましたが、やはり青年部活動を紹介しようかと思いましたが。全会員に把握してもらうことは勿論のこと、廻りの青年の方にこの様な事業をしているので参加してみても？と、お誘いしてください。また新入会員の勧誘にもお役立て下さい。

・中四国ブロック大会（今回は広島）

6月第二週の土日にあります。各県の士会活動内容を発表し、優勝者を決めます。優勝した県は全国大会で中四国ブロック代表として全国の猛者と戦います。徳島県として24名で参加しました。

・県外研修旅行（今回は城崎温泉）

6月第四週の土日にあります。青年役員入れ替わり時に、各自の親睦、研鑽を兼ねて視察に出かけます。24名の参加があり、この活動が横の繋がりができ意見が言える関係作りに欠かせない事業となっています。

・若手建築士交流会（今回は愛媛）

9月第4週の土日にあります。各県の若手が集まります。徳島県として12名で参加しました。また3年後には徳島県で開催されます。徳島らしい交流会が開催できるのを期待しています。

・全国大会（今回は鹿児島）

10月第四週の木金土にあります。青年は木曜日に全国の会員と街歩きをし、その後WSを行いました。その後懇親会もあるのですが、全国の方と話しするのは大変貴重な経験です。建物に対する優先度も地域性ができます。是非ともご参加ください。来年は大阪なので近いです。

・県内交流会（今回は阿南那賀支部）

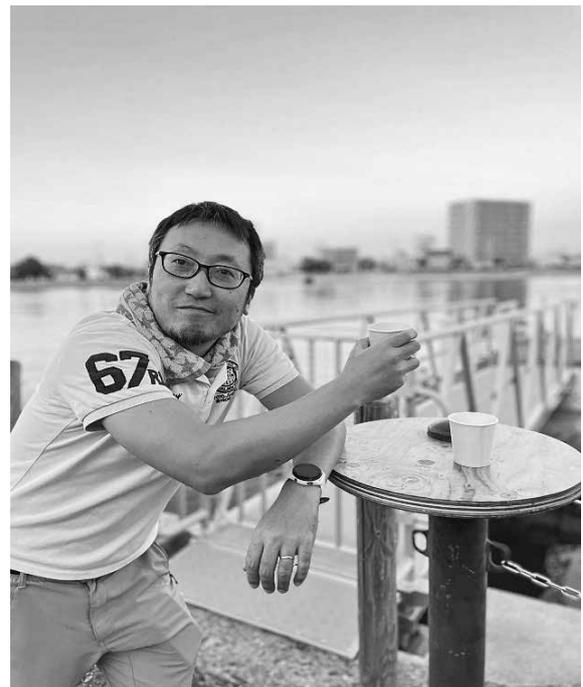
12月第一週土日にあります。今回は林業関係者、製材関係者、建築士会と三者合同でWSを行い、これからの木材について協議しました。川上の意見、川下の意見、どちらも活発でいい意見交換ができました。建築士会として16名参加がありました。

・新入会員歓迎会

今年は2月9日にありました。内容としては餅つきをし、BBQをし、酒を飲み、新入会員の方と語らおうという会です。今年は30名近くの参加がありました。この会

は最近では珍しく子供の参加もOKな会なので、子連れ参加の方も多数おり、中には孫を連れての参加もありました。全支部参加してくれる事業にしたいと考えております。

色々紹介してきましたが、支部の事業も含めれば、まだまだあります。情報を共有することで参加する方が増えると思います。また、横の繋がりが強固になると誘いやすく、また参加しやすくなると思います。ダメもとで色々参加促してみてください。よろしくお願い致します。



●士会だよりー本部●

建築確認申請実務者のための
申請図書作成セミナー
(CPD 認定講習会)

2025年4月の大型法改正により新たに必要となる図書・記載内容を具体的に解説します。

日 時：令和7年3月19日(水)

13：30～17：00(13:00受付開始)

会 場：徳島県建設センター 6F(徳島市富田浜 2-10)

受講料：(公社) 徳島県建築士会会員：1,000円

(会員以外：3,000円)

申込締切：3月14日(金)

準備物

- ・確認申請・審査マニュアル(2024年11月第3版)
- ・省エネ基準適合義務制度の解説(第二版)

講習1 解説：徳島県県土整備部住宅課

- ・技術基準改正のポイント

「新壁量基準」「省エネ性能の評価」等

- ・確認申請手続きに係る留意点について

「確認申請が必要となる大規模修繕・模様替」「完了検査の留意点」

講習2 解説：(公社) 徳島県建築士会

- ・ケーススタディ(モデルプランを用いて、実際に申請図書を作成しよう！)

「表計算ツール」を使って壁量・柱小径を算出

「WEBプログラム」「計算シート」を使って省エネ計算を体験 Etc.

- ・申請前チェック(国土交通省建築士サポート事業)について
- ・(公社) 徳島県建築士会独自の建築確認申請サポート事業の紹介

※受講には申込が必要です。必要事項を記載の上、FAX、メールにてお申込みください。

申込・問い合わせ：

電話 088-653-7570 FAX 088-624-1710

mail applysession@gmail.com

●士会だよりー徳島県●

建築士会本部行事

令和7年3月		令和7年4月	
12日(水) 住宅相談	(士会会議室)	9日(水) 住宅相談	(士会会議室)
19日(水) 改正建築基準法・省エネ講習	(建設センター)	16日(水) 住宅相談	(士会会議室)
26日(水) 住宅相談	(士会会議室)		

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。

※ 建築相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。

建築確認手続きの対象となる
大規模修繕・模様替について

令和7年4月1日施行の建築基準法改正により、現在の「4号建築物」の一部が「新2号建築物」になりますが、「新2号建築物」となるものについては、「大規模修繕・模様替」を行う際にも建築確認等の手続きが必要となります。

大規模修繕・模様替に該当するかどうかの判断にあたり、参考となる技術的助言が国土交通省から発出されておりますので、適宜参照の上、手続きに漏れがないようにお願いします。

※詳しくは士会ホームページを御覧ください。

●士会だよりー本部●

令和7年度
木造住宅耐震改修等の補助開始について

来る大地震に備え徳島市では平成16年から既存木造住宅の耐震改修工事等に補助を行っております。令和7年度の各補助の受付は令和7年4月中旬からの開始となっておりますのでご注意ください。

なお、補強計画及び住まいのスマート化支援事業への補助は終了する予定となっております。令和7年度の各補助メニューの詳細は、令和7年4月1日以降の徳島市のホームページでご確認ください。

編集後記

- ・どこかの卸売業者が買い占めているのか米が高い。計算してみると、うちでは年間100キログラムくらいお米を食べていました。米離れ…の心配はないね。(ノーリツ号)
- ・令和の米騒動がおこる…(ひとはたうさぎ)
- ・お米大好き!(ぺべい)